

ふじさわ未来課題

32 人々が交流して、平和でぬくもりのある社会であること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では核兵器のない平和な世界をめざして1982年（昭和52年）に「核兵器廃絶平和都市宣言」を施行しています。また、「藤沢市核兵器廃絶平和推進の基本に関する条例」を1995年（平成7年）に制定しています。
- ② 平和意識の高揚と相互理解の促進を目的とした平和学習・長崎派遣事業を市民との連携によって実施しています。
- ③ 2010年（平成22年）には、長崎市から頂いた被爆したクスノキを、平和の象徴として市民の皆様とともに育て、幾代にも平和が続くようにと願いを込めて植樹をしました。
- ④ 藤沢市の姉妹友好都市は、松本市（長崎県）、マイアミビーチ市（アメリカ合衆国フロリダ州）、昆明市（中華人民共和国雲南省）、ウィンザー市（カナダ オンタリオ州）、保寧市（大韓民国忠清南道）です。



この「ふじさわ未来課題」に関連する事業

【まちづくり市民連携事業】

公共交通機関では、多言語の表記を採用して、外国人にも分かりやすい情報の提供を行っています。



【戦略目標】

09 人々が交流して、平和でぬくもりのあるまち

【成果指標】

- ① 日常生活において平和な社会を実感する人の割合
- ② 日常生活において外国の人たちと交流している人の割合

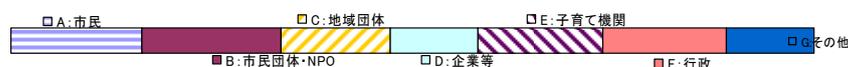
【現状値】 ①51% ②17%

【めざそう値】 3年後：①60% ②20% 6年後：①70% ②30%

【役割の担い手】 ①A:19% B:17% C:17% D:12% E:16% F:18% G:1%



②A:18% B:19% C:15% D:12% E:17% F:17% G:2%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-35》 多様な担い手との協働による国際交流の推進

＜成果の視点＞ さまざまな人が協力して、いろいろな国や文化、人との交流がなされること

〔主要な指標〕 国際交流事業への参加者数

《政策-36》 平和都市宣言に基づく平和事業の推進

＜成果の視点＞ 戦争やテロ等の不安がなく、平和なまちと世界であること

〔主要な指標〕 平和基金に寄付をされた方の数

《政策-37》 航空機騒音解消に向けた対策の推進

＜成果の視点＞ 航空機の騒音が軽減され、安心して穏やかなまちであること

〔主要な指標〕 70dB以上の騒音継続時間（1ヶ月平均）

《政策-38》 県内自治体連携による基地対策の推進

＜成果の視点＞ 県内自治体と連携して基地の課題解消に向けて取り組んでいること

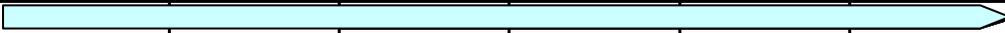
〔主要な指標〕 NLP（Night Landing Practice：夜間連続離着陸訓練）の年間回数

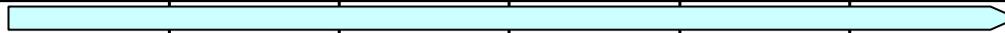
戦略目標に関するまちづくり事業の状況

事業の区分	事業数
まちづくり市民連携事業	3 事業
まちづくり行政事業	5 事業 (うち 地域で考え、全市で実施する事業 0 事業) (うち 地域と全市が連携して行う事業 0 事業)

事業名	都市親善・国際化推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-32-09-35-1	地域分権区分					
事業内容	<p>姉妹友好都市を中心に都市親善交流を行うことで、友好を深めるとともに国際相互理解を図るため、姉妹友好都市交流事業、目的別(教育・経済分野等)都市連携などを行います。具体的には、各年度毎に実施される姉妹都市との交流事業と共に、今後本市の国際政策を総合的、また、具体的に推進していく(仮称)国際化協会、及び、これらの事業に携わる市民が集える(仮称)国際化センターを設立します。</p>					
活動指標	国際化の推進に関する事業数					
目標値	現状値	8事業	3年後目標値	15事業	6年後目標値	20事業
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民・市民ボランティア・NPO・大学・企業等が民間主導で国際交流を行うため、行政が環境を整備し、施策を推進していきます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	市民・市民ボランティア・NPO・大学・企業・地域と行政が協働・連携し、各主体の特性を活かした海外諸都市との都市間交流を活性化させ、新たな文化交流を行う国際色豊かな藤沢づくりに寄与します。					
実施主体	藤沢市市長室国際課			(連絡先) 0466-25-1111		

事業名	「子育て講座(他言語で育てるコミュニケーション力)」事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-4-32-09-35-2	地域分権区分					
事業内容	<p>赤ちゃんから小学校低学年までの保護者、小学校高学年から高校生までの親子を対象に、実際に多言語で子育てをしている家族や留学生の体験をまじえながらの講座を実施します。</p> <p>ホームステイの受け入れ・親子で多言語で遊ぶ会『親子で遊ぼう!世界のことば』や国際理解授業;市内の小学校(高砂など)、また定例の多言語活動を藤沢・辻堂・湘南台など市内6箇所(各週1回)で行います。</p>					
活動指標						
目標値	現状値		3年後目標値		6年後目標値	
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	横浜国立大学の留学生にホームステイの体験を紹介してもらいます。また、赤ちゃんことばの研究をしているグループにも協力してもらいます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	いろいろなことばや交流に目を向けることで子育てに新しい視点を取り入れることにより、藤沢を訪れる外国の人たち、在住の人達と楽しく交流できる家族の増加が期待できます。					
実施主体	ヒッポファミリークラブ			(連絡先) 0466-23-8606		

事業名	日本語ボランティア養成と日本語教室の充実事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-4-32-09-35-3	地域分権区分					
事業内容	藤沢市に住む外国人市民は年々増加しており、日本語を学びたい外国人市民も増加しています。しかし、日本語ボランティアの数が不足しており日本語を学びたい外国人市民の要望にこたえられていません。また、日本語教室の開催場所(教室)も不足しており、その確保に労力を費やしています。そこで、養成講座を定期的に行い日本語の先生を増やすとともに、その活動の場(教室)を確保して外国人市民とのつながりを深める活動を行います。					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	藤沢市共生社会推進課と連携します。外国につながるを持つ市民の会(日本語ボランティア団体の集まり)を中心に情報を共有します。外国人登録窓口と連携し、外国人市民に日本語ボランティアの教室を紹介します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	日本語教室を充実させ、すべての外国人市民および日本語ボランティアの要望に即応えられる体制をつくります。					
実施主体	湘南日本中国友好協会日本語教室「かわせみ」					(連絡先)

事業名	平和都市宣言推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-32-09-36-1	地域分権区分					
事業内容	日本非核宣言自治体協議会、平和市長会議と連携し、平和の輪をひろげる湘南・江の島会議の成果も踏まえ、「藤沢市核兵器廃絶平和都市宣言」等に基づき、市民、NPO、ボランティア活動団体等と連携し、今後も核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けた取り組みを進める。 1 子どもたちへの平和教育事業 長崎派遣(小・中・高校生を派遣)、語り部との交流事業 2 市民と行政による協働の平和事業 「平和の輪をひろげる実行委員会」による平和活動 3 かながわ自治体平和アピールを踏まえた県内34自治体による平和推進会議等の開催 4 日本非核宣言自治体協議会、平和市長会議との連携、強化、平和の灯モニュメント設置					
活動指標	平和事業に参加した延べ市民数					
目標値	現状値	7,210人	3年後目標値	7,500人	6年後目標値	8,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	2020年(平成32年)までに核兵器の廃絶と恒久平和の実現をめざしていく必要があります。そのために、よりいっそう市民団体、NPOとの連携をはかり平和都市宣言推進事業をすすめていくことが望まれます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	核兵器廃絶及び恒久平和の実現のために、子どもたちへの平和教育事業や市民と行政による協働の平和事業を着実に実施し、また、日本非核宣言自治体協議会、平和市長会議の関係団体や多くの自治体と連携することで、核兵器のない平和な世界を目指した活動の輪をさらに大きく広げることができます。					
実施主体	藤沢市経営企画部共生社会推進課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	「FAKTA JAPAN」事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-4-32-09-36-2	地域分権区分					
事業内容	主に藤沢市に在住する方々を中心にした、国際NGOの活動を行います。インドネシア国ジャカルタ市の経済的貧しい人たちの支援活動(主に教育・経済的に学校に行けない文字の読み書きができない、四則計算ができない子供達への支援活動)をすること。この活動は多岐にわたりますが、実際に活動するインドネシア国ジャカルタの私たちのカウンターパートナーとなるの現地でのNGO「FAKTA」の資金的援助を行います。 会員は約60名。年会費は3650円(1日10円のお金を貧しさで学校にいけない子供たちのために使います。)					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	インドネシア国ジャカルタ市のNGO「FAKTA」はジャカルタの現況の報告、NGO活動の報告、会計などの報告を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	会員の増加や中学生や高校生、大学生など中心としたスタディツアーの実施することにより、「平和で持続的な世界を生み出すこと」に寄与します。					
実施主体	FAKTA JAPAN					(連絡先) 0466-82-0290

事業名	「核兵器廃絶、被爆者連帯、被爆者援護、非核三原則厳守」事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-4-32-09-36-3	地域分権区分					
事業内容	被爆の実相、核兵器の非人道性と危険性を広く市民に伝え、核兵器廃絶、被爆者連帯、被爆者援護、非核三原則完全実施につながる様々な運動を行います。 また、原水爆禁止世界大会及び3.1ビキニデー集会の参加者報告会の開催や署名活動、街頭宣伝を実施します。					
活動指標						
目標値	現状値		3年後目標値		6年後目標値	
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	核兵器廃絶を願う団体は、定期的に核兵器廃絶署名、原爆パネル展、街頭宣伝を行います。また、平和行進への参加は行政の支援を受けて行います。更に、核兵器に関わる学習会等の開催においては他団体と協働しこれを実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	被爆の実相、核兵器の非人道性と危険性、核兵器廃絶の世界情勢を伝えることによって、平和都市宣言をアピールします。					
実施主体	原水爆禁止藤沢市協議会					(連絡先)

事業名 航空機騒音対策推進事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-32-09-37-1		地域分権区分					
事業内容 県及び関係市の広域連携や本市独自による航空機騒音問題の解消に向けた要請活動や住宅防音区域の拡大に向けた取り組みを強化する。 1 厚木基地騒音対策協議会や県市連絡協議会を通じ騒音解消に向けた要請活動を実施 2 住宅防音工事の円滑な実施と防音区域が全市域に適用となるよう国へ継続的に要請							
活動指標		航空機騒音苦情対応件数					
目標値		現状値	269件	3年後目標値	200件	6年後目標値 150件	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		航空機による騒音は、市民共通の苦しみであり、市民生活にとっても大変深刻な全市的な課題です。この課題を解決するために、県及び関係市と広域連携を図り、航空機騒音対策を推進していく必要があります。					
事業スケジュール							
		第1期			第2期	第3期	第4期
		H23	H24	H25			
(市域全体)							
		実施	→	→	→	→	→
(地域)							
事業の成果 県及び関係市との広域連携や本市独自による航空機騒音の解消や住宅防音区域の拡大に向けた要請活動を継続的に政府機関等へ実施することで、基本構想に定めた将来像『「私たちの政府」が創る、いまでも未来も住み続けたいまち「湘南ふじさわ」』の実現を図ります。							
実施主体 藤沢市経営企画部共生社会推進課 (連絡先) 0466-25-1111							

事業名 基地対策連携推進事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-32-09-38-1		地域分権区分					
事業内容 広域連携として県及び関係市により、厚木基地騒音対策協議会や神奈川県基地関係県市連絡協議会の基地問題に関する要請活動をとおして、日米両政府が示す在日米軍再編の最終報告(ロードマップ)が着実に実施されるよう基地対策連携推進事業に取り組む。 1 空母艦載機を2014年(平成26年)までに厚木基地から岩国基地への移駐を要請							
活動指標		防衛省・外務省への要請行動件数					
目標値		現状値	24件	3年後目標値	20件	6年後目標値 16件	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		基地問題は、市民共通の苦しみであり、市民生活にとっても大変深刻な全市的な課題です。この課題を解決するために、県及び関係市と広域連携を図り、基地対策連携推進事業をすすめていく必要があります。					
事業スケジュール							
		第1期			第2期	第3期	第4期
		H23	H24	H25			
(市域全体)							
		実施	→	→	→	→	→
(地域)							
事業の成果 日米両政府が示す在日米軍再編の最終報告(ロードマップ)が着実に実施されるよう空母艦載機の岩国基地への移駐要請など、政府関係機関等に対して、関係する自治体等と連携して取り組むことで、基本構想に定めた将来像『「私たちの政府」が創る、いまでも未来も住み続けたいまち「湘南ふじさわ」』の実現を図ります。							
実施主体 藤沢市経営企画部共生社会推進課 (連絡先) 0466-25-1111							

都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産等、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

ふじさわ未来課題

37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では、「藤沢市ビオトープネットワーク基本計画」を策定し、藤沢らしい生物とのふれあいが市域全体で展開されるようビオトープ空間とそのネットワークの構成などについて検討しています。
- ② 市内には、特別緑地保全地区が 35.8ha（東京ドーム約 7.6 個分）、保存樹林は 126.3ha（東京ドーム約 27 個分）あります。（2010 年（平成 22 年）3 月 31 日現在）
- ③ 市内の 1 人あたりの公園は 5.39 m²です。
- ④ 藤沢市では、景観条例を 1989 年（平成元年）に制定し、特別景観形成地区を 2 地区、景観形成地区を 3 地区指定しています。
- ⑤ 2010 年（平成 22 年）には「わがまちふじさわ景観ベストテン」を実施しました。



2010
大切にしていきたい・守ってほしい・創ってほしい
わがまち
ふじさわ景観ベストテン
藤沢市

この「ふじさわ未来課題」に関連する事業

【まちづくり市民連携事業】

市内の企業では、次のような取り組みが行なわれています。（藤沢市商業振興の規定による地域貢献計画より）

- ① 建物の色などに関する景観への配慮
- ② 店舗周辺の清掃等

【戦略目標】

10 豊かな自然環境と地域資源を守り発展させ、次世代に継承するまち

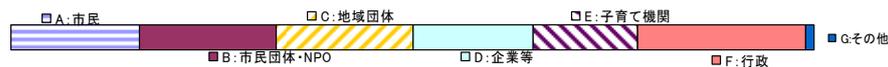
【成果指標】

- ① 自然環境が豊かであると感じる人の割合
- ② 湘南海岸や川など自然景観の保全への満足度
- ③ 斜面緑地や樹木など緑の保全への満足度

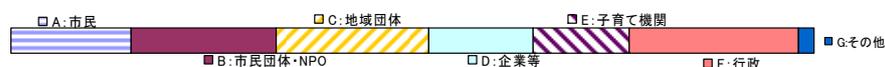
【現状値】 ①54% ②39% ③37%

【めざそう値】 3年後：①60% ②50% ③45% 6年後：①70% ②55% ③50%

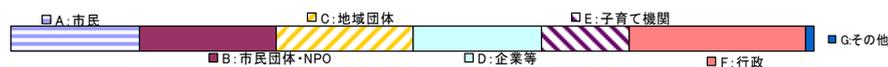
【役割の担い手】 ①A:16% B:17% C:17% D:15% E:13% F:21% G:1%



②A:15% B:18% C:19% D:13% E:12% F:21% G:2%



③A:16% B:17% C:17% D:16% E:11% F:22% G:1%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－39》 湘南海岸の美化と維持・保全の推進

＜成果の視点＞ 世界に誇れる湘南海岸であること

〔主要な指標〕

《政策－40》 自然豊かな田園環境の維持・保全の推進

＜成果の視点＞ 田園が維持・保全され、緑と治水、食の恵みの環境があること

〔主要な指標〕 耕作放棄地の面積

《政策－41》 多様な動植物の生息・生育環境の保全・再生の推進

＜成果の視点＞ 生物多様性の維持された、海、川、みどりの生息・生育環境があること

〔主要な指標〕 ビオトープの数

《政策－42》 谷戸や緑地等自然環境の保全・再生の推進

＜成果の視点＞ 三大谷戸や緑地等が大切に守られていること

〔主要な指標〕 三大谷戸の整備進捗率

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

事業の区分	事業数
まちづくり市民連携事業	4 事業
まちづくり行政事業	10 事業 (うち 地域で考え、全市で実施する事業 0 事業) (うち 地域と全市が連携して行う事業 2 事業)

事業名 養浜対策事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-39-1		地域分権区分					
事業内容		県が平2010年度(平成22年度)までに策定予定の養浜計画を、市としても県と更に連携強化して取り組み、藤沢海岸の養浜の必要性を要望していきます。また、藤沢市の海岸浸食の緊急時対応マニュアルを作成し、観光資源の保護と育成に努めていきます。					
活動指標		①藤沢海岸養浜計画の策定進捗率(県事業) ②緊急時対応マニュアル作成進捗率					
目標値		現状値	①70%②10%	3年後目標値	①100%②100%	6年後目標値	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		藤沢海岸の養浜対策は県が実施する事業のため、県と連携して役割を担います。また、台風等の緊急時の海岸浸食対応についても、県と連携して役割を担います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
		実施	→	→	→	→	→
(地域)							
事業の成果		湘南の顔になる江の島・湘南海岸の観光資源の保護等が図られると共に、観光シーズン等の緊急浸食時の影響を軽減することによって、観光資源の保護と育成(県や関係自治体との連携による養浜対策の実施)を推進します。					
実施主体		藤沢市計画建築部建設総務課・経済部観光課				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名 海岸管理事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-39-2		地域分権区分					
事業内容		藤沢海岸は、県の管理ですが、本市で海岸管理を行うことにより、海岸でのイベント等の手続きの短縮や新たな海岸活用の可能性が考えられます。このようなことから、今後、県からの権限移譲を視野にいれたなかで、本市での海岸管理の課題について整理・検討をするとともに、海岸の一体利用とのことから、近隣市との広域的な研究もしたうえで、海岸管理者である神奈川県と調整を図ります。					
活動指標		海岸管理の課題整理・検討の進捗率					
目標値		現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		藤沢海岸は、県が管理しているため、県と連携しての役割を担います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
		実施	→				
(地域)							
事業の成果		本市で海岸管理を行うことにより、海岸でのイベント等の手続きの短縮や新たな海岸活用の可能性が考えられます。					
実施主体		藤沢市計画建築部建設総務課・経済部観光課				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名	農業用水路等改修事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-40-1	地域分権区分					
事業内容	水田への安定した用水の確保は、農業生産の維持を図るうえで必要不可欠なものであるため、水田の農業生産者で組織した水利組合が実施する老朽化の著しい取水堰等の補修及び用水路・排水路の改修に対して助成を行います。また、安定した用水を確保し継続的な水田の耕作によって、自然豊かな田園環境の維持・保全を推進し、大切な地域資源の次世代への継承を図ります。					
活動指標	水路改修事業による受益面積(累計)					
目標値	現状値	6.5ha	3年後目標値	8.2ha	6年後目標値	10.7ha
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	水利組合が水路の改修等を行います。行政は水利組合への助成並びに技術的指導及び助言を行い、関係機関との調整を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	水利組合が取り組む改修事業により、公共施設の維持と改修が進められるようになります。また、施設の改修により安定した用水の供給が行われ、水田耕作の維持ができるようになります。					
実施主体	藤沢市経済部農業水産課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	(仮称)水田保全奨励事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-40-2	地域分権区分					
事業内容	水田は、食料生産の場だけではなく、生物の多様性の確保や、癒しを与える景観面、雨水を貯留し河川への急激な流入を緩和する治水面での役割など、多様な機能を果たしています。水田を保全・拡大していくため、水稻栽培を行っている農地所有者に対して支援を行います。					
活動指標	水田の面積(累計)					
目標値	現状値	107.6ha	3年後目標値	110ha	6年後目標値	113ha
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	行政は、JAさがみ、藤沢市水田農業推進協議会などと連携して農地所有者に支援を行い、農業者のほか援農ボランティア、農業生産法人など農業者の後継不足に対応する担い手が水田の耕作等を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	水田が保全されることにより、洪水の緩和、緑豊かな環境の維持など多面的な機能をもつ水田を次世代に引き継ぐことができます。また、新鮮な新米の市内流通が広がることで地産地消が推進され、豊かな市民生活の実現が期待できます。					
実施主体	藤沢市役所農業水産課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	農業体験型等市民農園開設支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-40-3	地域分権区分					
事業内容	耕作放棄地となる農地の増加の未然防止、農家の安定的な経営及び自然環境の維持・保全のため、農家が農業経営の一環として開設する体験型農園で、農家が畑から種や苗の準備まで行って本格的な野菜づくりなどの農業体験ができる「栽培収穫体験型市民農園」及び自ら耕作を行うことが困難な土地所有者等が農園利用を希望する市民に土地の区画貸しを行う「特定農地貸付法に基づく市民農園」について、その開設等に対し支援を行います。					
活動指標	市民農園開設個所数(累計)					
目標値	現状値	5個所	3年後目標値	10個所	6年後目標値	16個所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	「栽培収穫体験型市民農園」については、行政は、土地所有者による開設等に対し支援を行い、農業者が栽培から収穫までの指導を行います。「特定農地貸付法に基づく市民農園」については、行政が土地所有者に対して農地の適正管理等の働きかけをし、土地所有者やNPO法人等による開設等に対し支援を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	農業者が耕作できない農地を利用して市民農園として貸し出すことにより耕作放棄地となる農地の増加を未然に防ぐとともに、「栽培収穫体験型農園」に対する支援により、農家の安定的な経営及び自然環境の維持・保全につなげることができます。					
実施主体	藤沢市経済部農業水産課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	湘南なぎさ市事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-5-37-10-40-4	地域分権区分					
事業内容	藤沢市内の地域資源を発見・循環し、新しい価値観を創出することを目的に、体験ブース、バザーブース、パフォーマンスブース等、さまざまな形態に応じたオリジナルブース企画を展開し、持続可能な藤沢市を支える「湘南市場(いちば)」を創りだす。					
活動指標						
目標値	現状値		3年後目標値		6年後目標値	
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	当団体は、事業の企画・計画・実施、他団体への呼びかけ、運営全般を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	未来へ繋ぐ藤沢の環境資源や社会資源を再発見し、持続可能な都市をささげるという役割を市民が認識できるようになります。また、市民の力を市民自らが認識し、公益的な活動への参加意欲を醸成します。					
実施主体	かながわecolife応援団					(連絡先) 0466-27-4057

事業名	自然環境共生推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-41-1	地域分権区分					
事業内容	<p>市の貴重な自然環境を、広域的な連携を図り次世代に継承するとともに、市民を対象に自然保護意識の高揚、普及・啓発を図るため、自然環境の先進状況の把握を目的とした基礎的調査を行い、市民への情報提供やビオトープネットワーク事業等への活用を図ります。みどりの広域的ネットワークづくりを進めるため、大和市との都市連携による自然環境実態調査及び自然観察会の実施、鎌倉市との都市連携による手広緑地・川名緑地の一体的な緑地保全に取り組みます。</p> <p>また、生物多様性基本法に基づいた施策については、国・県等関係機関の動向を鑑み、「生物多様性地域戦略」の策定を視野に入れた取り組みを実施します。</p>					
活動指標	① ビオトープ推進組織の設立進捗率 ② 市民協働による自然環境実態調査実施進捗率					
目標値	現状値	①20%②0%	3年後目標値	①90%②70%	6年後目標値	①100%②100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	多様な主体が役割を持ち協働体制でビオトープ事業を推進を図り、また、市民、市民団体、企業のCSR活動など協働体制で自然環境実態調査を行い、調査データの構築・更新を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	自然保護意識の高揚、普及・啓発、自然環境の先進状況の把握、市民への情報提供やビオトープネットワーク事業等への活用、生物多様性の普及・啓発及び市域全体における藤沢らしい生物とのふれあいの展開、それらの将来継承が図られます。					
実施主体	藤沢市まちづくり推進部まちづくりみどり推進課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	海浜植物の保護・育成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-5-37-10-41-2	地域分権区分					
事業内容	<p>湘南海岸に自生する海浜植物の保護・育成活動を行ってまいります。</p> <p>毎月第2日曜(月例会)、辻堂海浜公園内での生物調査、清掃作業を実施し、4月と10月に種まきと育苗した苗を海岸に移植、年3会(春夏秋)地元の中学生や一般の人たちを対象に視察研修会を開催してまいります。また、毎年開催される藤沢市環境フェア、茅ヶ崎市環境フェア、辻堂公民館祭り、辻堂海浜公園祭りに参加して参ります。</p>					
活動指標						
目標値	現状値		3年後目標値		6年後目標値	
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	県藤沢土木事務所、県立辻堂浜公園、県立湘南海岸公園、辻堂市民センター、長久保公園、湘洋中学校、高浜中学校、茅ヶ崎環境政策課との協働作業を通じて活動のPRや普及に努めています。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	1995年(平成7年)に保全活動をはじめ、種まき、育苗、海岸への移植、今では約600株ほどまで植えました。2011年(平成23年)には鵠沼海岸に株を移植予定。2013年(平成25年)には茅ヶ崎海岸まで延長していきます。					
実施主体	湘南みちくさクラブ (連絡先) 0466-36-4861					

事業名	地域の自然観察会の実施事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-5-37-10-41-3	地域分権区分					
事業内容	江の島や新林公園の自然を解説しながら案内します。					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	特になし					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	活動をさらに広げ、神奈川県内だけでなく他県の自然観察会を行っていきたいです。					
実施主体	グリーンタフ友の会 (連絡先)					

事業名	グリーンネットワーク構築事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-42-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>地域経営会議から提案されている「みどりの保全」や「里山づくり」に対して、全市的な「みどりの保全」に関する方針と地域特性を整合させた計画とし、地域まちづくり活動への支援をする。</p> <p>さらに、地区毎だけでなく、地域間の交流・連携により、緑のネットワークを形成する。</p> <p>検討地区:御所見地区(里山・樹木の育成事業), 長後地区(貴重なみどりを守り残そう! 事業), 善行地区(ぜんぎょう里山づくり事業), 藤沢地区(地域緑化運動事業), 辻堂地区(みどり保全事業)</p>					
活動指標	保全活動延べ人数					
目標値	現状値	0人	3年後目標値	500人	6年後目標値	1,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	複数の地域から提案されている地域まちづくり活動に対して地域特性を活かし、支援する。全市的な「みどりの保全」に関する方針と整合を図り、基盤整備が必要な場合、市が担う。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	地区毎での地域まちづくり活動の実現のみならず、地域間の交流・連携を図ることにより、みどりのネットワークを形成し、地域まちづくり活動の有効性を高める。					
実施主体	藤沢市計画建築部建設総務課・まちづくり推進部まちづくりみどり推進課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	三大谷戸の保全事業(都市連携による川名緑地の保全)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-42-2	地域分権区分					
事業内容	<p>「川名清水谷戸」は、市街地に残された貴重な緑地であり、田畑を含めた里地里山を市民共有財産として保全・継承するため、都市計画道路横浜藤沢線との共存及び鎌倉市と連携し、本緑地に隣接する鎌倉市側の樹林地の保全を図り、特別緑地保全地区等の都市計画決定を行います。</p> <p>緑地部分は、従来からみどり基金等による買収を進めているが、今後も、都市計画決定実施までの間は買収を進め宅地開発等の行為を未然に防止するとともに、早期に、特別緑地保全地区指定等土地利用規制を実施し、市民管理協定の締結など民有緑地の維持管理に努め、買収によらない緑地保全を推進します。</p>					
活動指標	用地取得(公有地)率					
目標値	現状値	43%	3年後目標値	43%	6年後目標値	50%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、事業説明、法的な手続等を担当し、多様な主体が役割を持って持続可能な体制を構築することにより、川名緑地の保全を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	藤沢駅至近部に位置し、新林公園、鎌倉市民有林に挟まれ、それらを併せると約50haの広大な緑地を、鎌倉市等の広域連携により保全することにより、川名清水谷戸の特徴的な生物の保全、無秩序な市街化の防止、谷戸内を縦断する都市計画道路との共生が図られます。					
実施主体	藤沢市まちづくり推進部まちづくりみどり推進課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	三大谷戸の保全事業(石川丸山緑地)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-42-3	地域分権区分					
事業内容	<p>「石川丸山谷戸」は、里地と里山が織りなす市内でも希少な田園景観等の自然環境を市民共有の財産として、都市緑地や特別緑地保全地区の指定等によって、後世に継承していきます。</p> <p>このため、当面は、石川丸山地区の既に行買済の緑地を含めた約10haを都市緑地に指定するため、ゾーニングによる保全計画を策定するとともに、土地所有者の理解を得ながら都市計画決定手続を進め、用地買収を図ります。</p> <p>また、残る石川色子地区約10haは、隣接する「引地川特別緑地保全地区」の拡大等を検討し、都市計画決定を進めます。</p>					
活動指標	用地取得(公有地)率					
目標値	現状値	30%	3年後目標値	30%	6年後目標値	40%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、事業説明、法的な手続等を担当し、多様な主体が役割を持って持続可能な体制を構築することにより、石川丸山緑地の保全を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	石川丸山谷戸周辺地域は、本市内において、特に生態系が多様な場所です。ピオトープネットワークの核エリアとしてその自然環境を保全することにより、石川丸山谷戸の特徴的な生物の保全とともに、次世代への継承が図られます。					
実施主体	藤沢市まちづくり推進部まちづくりみどり推進課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	三大谷戸の保全事業(遠藤笹窪)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-42-4	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>遠藤笹窪谷戸の保全を行うにあたり、2010年(平成22年)10月に健康の森基本構想が策定され、保全を基調とすべき区域と都市機能の集積を図る区域のゾーニングなどが示されたことから、地域住民や自然保護団体と協働により、具体的な計画としての基本計画を策定するとともに、地域活性化に資する施設整備を進めます。</p> <p>1 散策路整備や里山再生を進める一方、それと併行して地域振興策、健康プログラム、環境教育プログラム等の検討を進めます。</p> <p>2 谷戸環境や緑地空間の恒久的な保全を図るため、公民連携による保全及び管理手法の検討を進めるとともに、必要に応じて緑地の取得を行います。</p>					
活動指標	第2期整備区域内の事業用地取得率					
目標値	現状値	53%	3年後目標値	54%	6年後目標値	55%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、保全に向けた体制や手法の検討について、役割を主体的に担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	緑地の取得や散策路(フットパス等)等整備、また公民連携による管理運営を推進することで、緑地及び里地里山・谷戸景観の保全が図られるとともに、地域振興及び市民の憩いの場としての利活用が図られることにより、「谷戸や緑地等自然環境の保全・再生の推進」に寄与します。					
実施主体	藤沢市まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所			(連絡先) 0466-25-1111		

事業名	里山(里地, 里山)の緑地保全活動事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-5-37-10-42-5	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢市内及び周辺の管理不十分な、いわゆる手付かずで放置状態の緑地において、近隣住民、利用者及び所有者に望まれる快適な緑地をめざした緑地保全活動を推進し、湘南グリーンベルトの健全性を高めます。この活動に広く市民・企業・学校などの参加を得て、運動として盛り上げていきます。</p>					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	行政には、全市的な立場から緑地の方向付けおよび緑地保有者や住民との連携活動の橋渡しなど協力・支援して頂きます。住民・利用者・所有者・企業・学校等には、緑地保全活動への関心を高め、協同参画へとステップアップしてもらえるよう普及・支援・養成活動を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	1年後、少なくとも緑地保全活動時に、緑地の近隣住民や自治会などと連携し、緑地保全への関心・興味を高めてもらうよう取り組みます。3年後、広く市民・企業・学校等が環境に関する興味をいただき、自ら参加していくような機会を作り・支援し、ヒトを育成し、広汎な活動へと輪を広げていきます。					
実施主体	特定非営利法人 藤沢グリーンスタッフの会			(連絡先) 0466-36-7152		

【戦略目標】

1.1 愛着と誇りの持てる景観の保全と創造するまち

【成果指標】

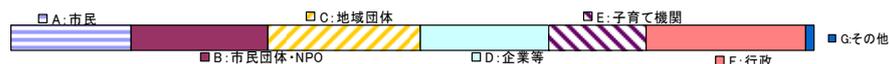
① 市内にお気に入りのまちなみや景観がある人の割合

② 美しい街並みなど、都市景観の形成への満足度

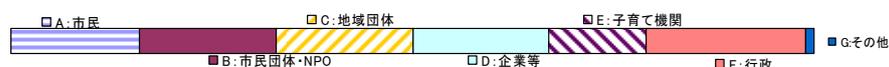
【現状値】 ①78% ②20%

【めざそう値】 3年後：①80% ②30% 6年後：①88% ②40%

【役割の担い手】 ①A:15% B:17% C:19% D:16% E:12% F:20% G:1%



②A:16% B:17% C:17% D:17% E:12% F:20% G:1%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－4.3》 地域の特性を生かした市民主体の景観まちづくりの推進

＜成果の視点＞ 地域の誇りとなる景観やまちを形成するためのルールづくりや、保全・整備により個性と風情があること

〔主要な指標〕 市内にお気に入りのまちなみや景観がある人の割合（20歳～40歳代）

《政策－4.4》 新たな都市拠点に相応しい土地利用・景観の誘導と保全

＜成果の視点＞ 新しいまちの象徴となる景観、まちのかたちがあること

〔主要な指標〕 景観構造ゾーンにおける地区での景観形成に関する活動数

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

事業の区分	事業数
まちづくり市民連携事業	2 事業
まちづくり行政事業	2 事業 (うち 地域で考え、全市で実施する事業 0 事業) (うち 地域と全市が連携して行う事業 1 事業)

事業名	景観資源推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-11-43-1	地域分権区分					
事業内容	<p>良好な都市景観の形成を図るために景観ベストテンを活用した景観意識の啓発を行うとともに、市民が主体となり、地域の特性を活かした景観まちづくりを推進します。また、県や鎌倉市と広域に連携しながら、「湘南江の島プロジェクト」による湘南海岸地域の魅力向上を推進します。</p> <p>1 都市景観の意識啓発 2 市民が主体となった景観まちづくりの推進 3 景観重要公共施設、景観重要建造物、景観重要樹木の指定等 4 景観計画の改定</p>					
活動指標	景観啓発イベントに参加した人数の累計					
目標値	現状値	130人	3年後目標値	500人	6年後目標値	1,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	良好な地域の景観を維持保全し、新たな景観を形成していくには、市民の景観への関心と自主的な取り組みが重要である。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	地域の特性を活かした景観まちづくりの推進の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市計画建築部景観課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	落書き除去活動による環境保全事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-5-37-11-43-2	地域分権区分					
事業内容	<p>「まちの景観を台無しにするばかりか、放置していると他の犯罪に移行する」と言われている落書き除去活動をしている環境保全事業。(6年前より継続)</p> <p>この活動は、通常の我々ボランティア活動の他の連携・協働が必要であり、加えて活動内容を発展しなければなりません。また、落書きが書かれた管轄場所が多岐に渡っておりますが、管轄に関係なく全部消去しています。全部消去しなければ意味がありません。(重要)活動発表として、村岡NPOの展示を行い、県土木事務所の「建設もしび運動」に参加します。更に、村岡地区の剣道312、302号線の環境活動に参加します。片瀬公民館の防犯グループもこの11月から国道134号を担当する事になりました。</p>					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	連携、協働先として、羽鳥中学、市民活動推進センターと共催のボランティア体験及び、近藤乳業、市主催のバリューアックキャンペーン参加等を行っております。また、土木事務所から溶剤、用具が支給されます。市は各地区に対し、落書きマップを提出させ、地区毎に落書き消去(連携)の指示を望みます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	再犯連続回数今年に入って10回の場所もあり、我々はその都度消去していますが、限度があります。私の観察では市の何部8地区位が落書き多いとみています。この現状が続く限り、1年後3年後の展望が0効果と見てます。					
実施主体	かんきょう楽行/村岡の会					(連絡先) 0466-25-4024

事業名	市花「フジ」の保護・育成の支援とフジロードの実現化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-5-37-11-43-3	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢市の花「フジ」への市民の関心、愛着を高揚させると共に、藤沢市景観計画の基本方針を踏まえ、引地川、境川沿いにフジの花のある公園や遊歩道をつなぎ「フジロード」及び「フジの名所」を創り、市民の憩いの場としての公園の充実を図るために、フジの保護・育成の支援を行います。</p> <p>具体的には、担当課との連携の他、長久保公園花祭りへの参加、同公園での市民向け講習会の開催を行います。また、湘南ふじさわウォーキング協会のフジロードウォークの実施します。</p>					
活動指標						
目標値	現状値		3年後目標値		6年後目標値	
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市とフジに関する全ての情報提供、フジロード充実のための活動推進等を行い、適宜、観光課、広報課、景観まちづくり課と情報提供・活動の推進等を行います。また、藤沢市緑化事業協同組合とフジに関する情報提供等を実施します。更に、藤沢市まちづくり協会・長久保公園とフジの管理・育成・講習・藤の里の充実の為の活動推進を図ります。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	現在構想中の「境川水辺ロード」を創り出します。また、2013年度(平成25年度)には、江ノ島や夏の海水浴客のほか、春にも観光客を呼び込むことができ、子供から高齢者まで「一生住み続けたいまち湘南藤沢」の自然の保護、公園や遊歩道の機能向上の手段を構築に寄与します。					
実施主体	藤倶楽部					(連絡先) 0466-27-5192

事業名	景観形成推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-11-44-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>藤沢駅、辻堂駅、湘南台駅の各駅周辺や、史跡名勝地の江の島及び遠藤・御所見地区は、本市の都市景観を構成する景観構造のゾーンとして景観計画に位置付けており、良好な景観の形成を重点的に進めます。また、工場などの移転などによる大規模な土地利用の転換が行われる場合には、周辺と調和した景観を誘導します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 特別景観形成地区/景観形成地区の指定及び景観形成基準の設定 2 景観形成協議会の設立 3 景観法に基づく届出・認定申請における事前協議制度 4 歴史的景観の活用と保全 					
活動指標	景観形成協議会の開催回数の累計					
目標値	現状値	4回	3年後目標値	15回	6年後目標値	30回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	景観形成地区の指定あるいは景観形成基準の策定にあたっては、地域住民・地権者・事業者などが主体となり、協議しながら定めることを基本とします。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	それぞれの地域に相応しい景観形成の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市計画建築部景観課					(連絡先) 0466-25-1111

～まちづくり情報～

- ① 各地区の公民館では、地域の伝統や風習などを学ぶ講座を実施しています。この講座では、お年寄りから教えを受け、子どもたちが学ぶという、世代を超えた交流もなされています。
- ② 生涯学習においては、専門的知識だけではなく、地域性や活動経験など、幅広い能力が求められるため、市では社会教育コーディネーターを設置し、地域の課題や特性、ニーズに応じた学習事業の実施に向けた取り組みを進めています。
- ③ 世代間交流事業は、保育園や介護事業所によって定期的に行われているものもあります。



【戦略目標】

12 地域づくりの未来の担い手が育つまち

【成果指標】

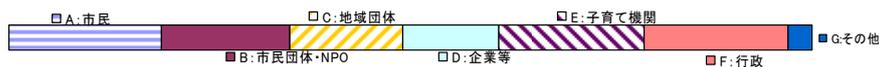
① 藤沢の未来を担う担い手が育っていると感じる人の割合

② 気軽に利用できる学習施設の充実への満足度

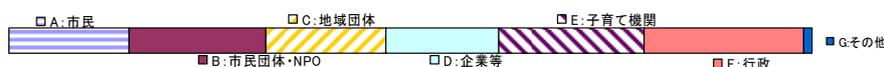
【現状値】 ①11% ②19%

【めざそう値】 3年後：①20% ②30% 6年後：①30% ②35%

【役割の担い手】 ①A:19% B:16% C:14% D:12% E:18% F:18% G:3%



②A:15% B:17% C:15% D:14% E:18% F:20% G:1%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

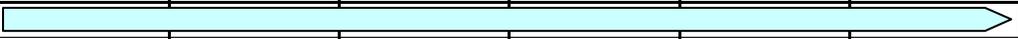
《政策－45》 地域づくりの担い手を育成する多世代が交流する生涯を通じた学習の推進

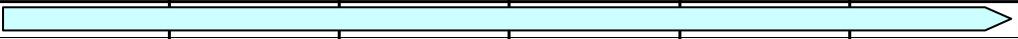
＜成果の視点＞ 地域力を継承・発展するための気づきや学びの場があること

〔主要な指標〕 地域の課題や特性、ニーズに応じた学習事業の数

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

事業の区分	事業数
まちづくり市民連携事業	1 事業
まちづくり行政事業	2 事業 (うち 地域で考え、全市で実施する事業 0事業) (うち 地域と全市が連携して行う事業 0事業)

事業名	生涯学習推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-45-12-45-1	地域分権区分					
事業内容	<p>「新生涯学習ふじさわプラン」に基づき市民主体の生涯学習を支援する環境を整備します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「生涯学習ふじさわプラン」の進行管理及び改定 2 社会教育コーディネーター等の人材育成と活用を担う生涯学習大学の運営 3 学習成果や知識・経験を発揮できる場づくりを推進する生涯学習人材バンク運営 4 生涯学習に関わる多様な主体等との連携による生涯学習ネットワークの強化 5 生涯学習情報の一元化と学習相談窓口の明確化 6 学習権保障のための支援, 社会教育団体等への支援のメニュー化検討 					
活動指標	講座受講後の活動者数(年間)					
目標値	現状値	376人	3年後目標値	400人	6年後目標値	450人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民の自主的な活動を促進するための環境整備は行政主体で実施し, 市民や社会教育関係団体の学習成果や知識・経験を公民館の市民運営など社会教育及び生涯学習の振興に主体的に発揮していただくことで, 市民ニーズにマッチした生涯学習の推進を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	社会教育関係団体, 公民館を運営する市民団体やボランティア団体, 市内外の大学, カルチャーセンターなど, 市民の生涯学習に関わる多様な主体が役割分担し連携をしながら, 生涯学習の推進を図ることができる環境をつくります。また, 学習成果や経験・知識を発揮でき市民力を活かせるしくみづくりを行います。					
実施主体	藤沢市生涯学習部生涯学習課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	多様な世代による地域づくり推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-45-12-45-2	地域分権区分					
事業内容	<p>子どもの健やかな成長をめざすための社会教育活動として, 次の事業を実施し相互に関連づけながら, 地域社会の担い手の育成を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 PTA育成事業 2 学校・家庭・地域連携推進事業(地域協力者会議) 3 おやじの会設置促進事業 					
活動指標	「PTA」「地域協力者会議」「おやじの会」の協働による事業参加者数					
目標値	現状値	18,277人	3年後目標値	25,000人	6年後目標値	30,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	学校・家庭・地域の三者連携によって, 各地域の様々な組織活動の担い手を発掘することが期待できます。加えて, PTA, おやじの会など子どもを軸に世代を超えた地域の人々の連携を図ることが期待できます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	子どもを軸に世代を超えた地域の人々の活動の連携を図り, 地域づくりを推進します。					
	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域の教育力の向上 2 活動に関わる人々やその活動に触れる子ども達のシチズンシップの向上 3 地域コミュニティにおける様々な役割を担っていく後継者の発掘・育成 					
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	映像ワークショップ事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-5-45-12-45-3	地域分権区分					
事業内容	市民に映像を制作するワークショップを開催し、市民や青少年(ひきこもり等青少年含む)が、多様な視点で地域資源を映像化し、藤沢動画サイトやサイネージで発信することで、市のプロモーションを行い、藤沢の映像文化を創造します。(内容 ビデオカメラの基本操作、カメラアングル、フレームの切り取る意味・位置の意味、撮影の許諾 メディアリテラシーの概念、編集方法とその意図、企画・校正等)作品は、f-dogaやサイネージ、民間サイネージ、映像祭への参加、DVD化、地域上映会で使用します。青少年自らが取材し、その過程で藤沢キャリア教育の基礎作りを行い、初期のワークショップでは、東京大学先端技術研究所にて開発されたソフト”DMD”を使用し、一人で映像製作する過程や役割を体験させています。					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	IT推進課・広報課:映像ワークショップの広報と内容の精査をします。 市内小中学校:ワークショップを開催します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	中学校に藤沢市独自の映像キャリア教育が浸透し、社会との関係性や自己を表現し、自立する意味を考えるキャリア教育と、他者の多様性を認める事が出来るメディアリテラシーを受講した中高校生が地域を作る担い手となります。					
実施主体	NPO法人 湘南市民メディアネットワーク			(連絡先) 0466-62-2288		

都市ビジョン2
地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化等の環境問題やエネルギー・食糧等の資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることをめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことめざします。

ふじさわ未来課題

49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市と茅ヶ崎市、寒川町は、湘南広域都市行政協議会で「湘南エコウェーブプロジェクト」として、電気自動車の導入促進、公共施設の緑化、レジ袋削減／マイバック持参キャンペーンなどを実施しています。
- ② 2010年(平成22年)4月から、片瀬地区・鵜沼地区をモデル地域に、賛同店舗事業者・消費者団体等各種団体・市の三者でレジ袋削減に向けた具体的な取組を開始するため、活動母体として「藤沢市レジ袋削減推進モデル地域協議会」を設置しています。
- ③ 2010年(平成22年)4月から、辻堂地区をモデル地区として資源戸別収集を実施しています。



この「ふじさわ未来課題」に関連する事業

【まちづくり市民連携事業】

市内の企業では、次のような取り組みが行なわれています。(藤沢市商業振興の規定による地域貢献計画より)

- ① 店舗内における分別収集の徹底
- ② 緑化協定への協力

【戦略目標】

13 環境への負荷を軽減し、未来につなげる循環型社会の実現に取り組むまち

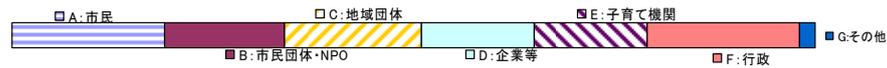
【成果指標】

- ① ごみの分別や節電など、環境を意識した行動をしている人の割合
- ② リサイクルされているゴミの割合

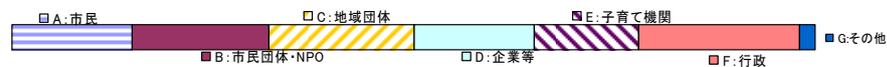
【現状値】 ①71% ②29%

【めざそう値】 3年後：①80% ②40% 6年後：①90% ②50%

【役割の担い手】 ①A:19% B:15% C:17% D:14% E:14% F:19% G:2%



②A:15% B:17% C:18% D:15% E:13% F:20% G:2%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－46》 地域と協働したきれいで住みよい環境づくりの推進

＜成果の視点＞ 地域で暮らしやすい環境を守り育てていること。

〔主要な指標〕 キャンペーン活動、ボランティア活動の延べ参加者数

《政策－47》 広域連携による廃棄物の適正処理及び環境啓発の推進

＜成果の視点＞ 近隣市町と連携して廃棄物が適正に処理されていること

〔主要な指標〕 廃棄物の資源化率

《政策－48》 廃棄物の減量と有効利用及びリサイクルの推進

＜成果の視点＞ ごみが少なくなり、資源が大切にされていること

〔主要な指標〕 廃棄物の減量率

《政策－49》 自然環境の保全と、環境負荷低減の推進

＜成果の視点＞ 自然環境が汚染されておらず、環境に負担の少ない処理がされていること

〔主要な指標〕 境川、引地川水系のBOD年平均値

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

事業の区分	事業数
まちづくり市民連携事業	4 事業
まちづくり行政事業	14 事業 (うち 地域で考え、全市で実施する事業 0 事業) (うち 地域と全市が連携して行う事業 0 事業)

事業名	サステナブル・スマート・タウン推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-46-1	地域分権区分					
事業内容	<p>旧松下電器産業グループ事業所跡地(面積約19ヘクタール)について、日本初の環境創造まちづくり拠点「FUJISAWAサステナブル・スマート・タウン」のまちづくりを推進します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 低炭素社会をリードする、「省エネ」「創エネ」「蓄エネ」による公民連携のまちづくり 2 太陽光発電, EV(電気自動車), 急速充電器ネットワーク, カーシェアリングの利用促進 3 住宅, 福祉・健康・教育施設, 生活支援機能から成る新たな地域再生 4 JR東海道本線を挟んだ南北地区間の交通円滑化を図る(仮称)南北線等の整備 5 タウン・エネルギー・マネジメントシステムの導入 					
活動指標	タウン内において施策によるCO ₂ 排出量の削減量					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	-53%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	藤沢市とパナソニック株式会社が主体的に事業を進める中で、福祉・健康・教育ゾーンにおける民間活力の導入が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	計画	実施	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	「環境創造まちづくり拠点」として、市内はもとより、国内各都市また世界に向け、「地域から地球に広がる環境行動都市・藤沢モデル」を発信するとともに、少子高齢社会に対応する地域貢献施設の整備させ、新時代の都市形成を図ることにより、暮らしやすいまちが形成されます。					
実施主体	藤沢市経営企画部経営企画課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	環境美化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-46-2	地域分権区分					
事業内容	地域と協働したきれいで住みよい環境づくりを推進し、地域で暮らしやすい環境を守り育てるために、不法投棄防止対策事業やボランティア清掃事業を実施します。					
活動指標	不法投棄件数					
目標値	現状値	1,522件	3年後目標値	1,370件	6年後目標値	1,218件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	不法投棄防止対策事業やボランティア清掃活動を充実させるための周知・啓発及び支援活動での役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	不法投棄防止対策事業やボランティア清掃活動を行うことで、市民・地域住民、団体による自主的な環境美化活動が活発化し、環境美化に対する意識の普及・啓発が図られることにより、「地域と協働したきれいで住みよい環境づくりの推進」の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市環境部資源廃棄物対策課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	市民の健康と環境を守るためのせっけん使用推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-6-49-13-46-3	地域分権区分					
事業内容	きれいな水と生命を守るために合成洗剤を使わずせっけんを使いましょう。せっけんでやさしい暮らしを、と呼びかけ働きかけをしています。学習をし調査し、それを元にし啓発していく活動です。現実的、実践的であることを心がけ、パネル資料やリーフレット等作成し、せっけん推進だよりの発行等又は、せっけん作り教室や学習会などで実現していきます。					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<構成団体>・湘南生活クラブ生協、湘南ふじさわcommons、藤沢北commons、ライフタウンデポ、せっけん仲間会、せっけんグループ「しゃぼん湘南」、湘南地域連合(湘南教職員組合) <オブサーバー>市消費生活センター、産業振興課、環境保全課、教育総務課 <賛同団体賛同個人>◎せっけん使用推進の活動への企画と参加					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	環境教育、消費者教育と教育の現場で子どもたちと共に展開していきたいです。きれいな水と生命を守るためのせっけん使用推進活動を生活の中に実践していただけるよう働きかけを続けていきたいと思ひます。					
実施主体	藤沢市せっけん推進協議会 (連絡先) 0466-81-3179					

事業名	石けんを通した環境や生命に優しいライフスタイル事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-6-49-13-46-4	地域分権区分					
事業内容	石けんを通して環境や生命に優しいライフスタイルのあり方を地域に広めます。 ①企画事業(学習会などの開催・講座や学習会の講師派遣、資料などの作成など) ②啓蒙事業(情報発信・・・年10回の通信発行、資料、用具の貸し出し、地域イベントへの参加など) ③販売事業(石鹸類の販売、合成界面活性剤不使用の化粧品販売)					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	会員、個人35名。団体、3団体。藤沢市せっけん推進協議会の正会員として活動に参加しています。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	[2011年]講座やイベントを通して合成洗剤の危険性を伝えて、石鹸の安全性や石鹸を使う楽しさを知ってもらいます。特に学校教育への浸透をはかります。[2013年]上記の活動をより広めます。					
実施主体	石けんグループ「しゃぼん湘南」 (連絡先) 0466-61-2411					

事業名	リサイクルセンター整備(運営)事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-47-1	地域分権区分					
事業内容	<p>「神奈川県ごみ処理広域化計画」による、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町で構成する「湘南東ブロックごみ処理広域化調整会議」で策定した、「湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画」及び「藤沢市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみ処理の広域連携を図り、藤沢地域の総合的な資源循環施設とした(仮称)藤沢市リサイクルセンターを、PFI的手法(DBO+DBM方式)を用いて整備した後、特別目的会社(SPC)により20年間の良好な運営・維持管理を行います。</p>					
活動指標	広域連携による廃棄物の適正処理					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	80%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	公民の連携による廃棄物の適正な処理及び環境啓発を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	着手	→	運営	→	→	→
事業の成果	<p>広域連携を基本とした廃棄物処理の相互協力等、循環型社会形成の実現に寄与します。また、施設の運営に関して、公設公営方式と本事業方式(DBO+DBM方式)を比較し、VFM(費用対効果)で施設運営費の財源縮減効果が見込めます。</p>					
実施主体	藤沢市環境部資源廃棄物対策課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	リサイクルセンター整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-47-2	地域分権区分					
事業内容	<p>「神奈川県ごみ処理広域化計画」による、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町で構成する「湘南東ブロックごみ処理広域化調整会議」で策定した、「湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画」及び「藤沢市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみ処理の広域連携を図り、藤沢地域のリサイクルセンターを整備します。</p> <p>市内より収集される不燃・大型ごみの処理を行う破砕処理施設と、ビン、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装等の処理を行う資源化施設、またリサイクル展示場を統合し、施設見学及びごみの減量・資源化に効果的な環境学習の拠点機能を備えた環境啓発施設を建設し、総合的な資源循環施設として、PFI的手法(DBO+DBM方式)を用いて整備します。</p>					
活動指標	広域連携による廃棄物の適正処理					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	公民の連携による廃棄物の適正な処理及び環境啓発を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	工事	→	竣工			
事業の成果	<p>広域連携を基本とした廃棄物処理の相互協力等、循環型社会形成の実現に寄与します。また、施設整備に関して、公設公営方式と本事業方式(DBO+DBM方式)を比較し、VFM(費用対効果)で施設整備費の財源縮減効果が見込めます。</p>					
実施主体	藤沢市環境部資源廃棄物対策課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名 環境施設整備事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-47-3	地域分権区分					
事業内容	<p>「神奈川県ごみ処理広域化計画」による、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町で構成する「湘南東ブロックごみ処理広域化調整会議」で策定した、「湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画」及び「藤沢市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみ処理の広域連携を図り、藤沢地域の焼却施設として2021年(平成33年度)まで稼働するため焼却設備の延命化工事を実施します。また、焼却設備の老朽化に伴う焼却炉の更新を行います。</p> <p>1 施設の延命化の推進 2 廃棄物の適正処理の実施 3 余熱利用の推進</p>					
活動指標	広域連携による廃棄物の適正処理					
目標値	現状値	—	3年後目標値	50%	6年後目標値	50%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市が主体となって、廃棄物の適正処理及びエネルギーの有効利用を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	「広域連携による廃棄物の適正処理及び環境啓発の推進」と「湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画」による循環型社会の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市環境部石名坂環境事業所 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名 バイオエネルギー推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-47-4	地域分権区分					
事業内容	<p>環境負荷の軽減及びCO2削減効果を期待できる環境に配慮したバイオガス化施設を整備するため、次の事業を実施します。</p> <p>1 バイオガス化施設整備基本計画検討 2 施設整備基本設計業務及び事業方式の検討 3 生活環境影響調査及びアドバイザー業務 4 北部旧1号炉, 2号炉の解体工事及びバイオガス化施設の建設工事</p>					
活動指標	広域連携による廃棄物の適正処理					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	0%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市が主体となって、廃棄物の適正処理及びエネルギーの有効利用を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	検討	実施	→	→	→
事業の成果	「広域連携による廃棄物の適正処理及び環境啓発の推進」と「湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画」による循環型社会の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市環境部資源廃棄物対策課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	資源有効利用促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-48-1	地域分権区分					
事業内容	<p>環境への負荷を軽減し未来へ繋げる循環型社会の構築を目的として、温室効果ガスの削減を進めるとともに、雨水や資源物の有効利用を推進します。</p> <p>《基礎的取組》</p> <p>1 資源回収の推進, エコキャップの回収, 資源率向上のための広報活動</p> <p>2 レジ袋削減の取り組み(湘南エコウェブ, 県との連携)</p> <p>《発展的取組》</p> <p>1 焼却灰の溶融化, ゴミ焼却発電の利用</p> <p>2 雨水貯留槽設置補助の実施</p>					
活動指標	1990年(平成2年)比-40%に向けた温室効果ガス削減量					
目標値	現状値	-23.4%	3年後目標値	-28%	6年後目標値	-32%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地球温暖化を防止するために、行政だけでなく、市民・事業者・NPO等活動団体・大学など様々な主体が連携を図り、資源の有効利用を促進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	身近なところからできる資源物の有効利用とさらなる分別, 処分場の延命化を目的とする焼却灰の溶融化など発展的な取り組みを推進することで、温室効果ガス削減を図ります。					
実施主体	藤沢市経営企画部環境都市政策課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	生ごみ堆肥化推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-48-2	地域分権区分					
事業内容	<p>地域団体と連携した生ごみ堆肥化推進事業を実施します。</p> <p>生ごみ堆肥化モデル事業では、地域レベルにおいてごみの減量化・資源化の推進を図るため、50世帯程度の戸建ての住宅と、50世帯程度の集合住宅において、大型生ごみ処理機を1台づつ設置し、地域で各家庭の生ごみを持ちより大型生ごみ処理機により堆肥化し、その生成された堆肥を有効に活用して循環型社会の形成を推進します。</p>					
活動指標	参加する世帯数(世帯)					
目標値	現状値	0世帯	3年後目標値	100世帯	6年後目標値	100世帯
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市が大型生ごみ処理機のリース・保守点検委託料等を負担するとともに、堆肥化推進の周知・啓発を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→			
事業の成果	地域レベルにおける生ごみの資源化を図ることによって、環境負荷の軽減並びに循環型社会の形成の推進が図られます。					
実施主体	藤沢市環境部資源廃棄物対策課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	資源品目別戸別収集事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-48-3	地域分権区分					
事業内容	<p>廃棄物の減量及び有効利用並びにリサイクルを推進するため、ごみ処理有料化3年後の検証に併せ『負担に感じている資源の分別当番』、『資源集積所までの資源の運搬』、『集合住宅を中心とした家庭内における資源ストック場所の問題』、『資源集積所の諸課題』といった市民負担の軽減及び資源収集に対する課題を解消するとともに、更なる分別徹底による資源の品質向上と回収量の増加を目的とし、資源の出しやすい環境づくりのため、資源の品目別戸別収集を実施します。</p>					
活動指標	①資源化率 ②減量率					
目標値	現状値	①29%②29%	3年後目標値	①30%②25%	6年後目標値	①35%②30%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市が主体となって、収集計画の立案並びに市民への減量及び資源化促進の啓発を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	----->			→		
(地域)	実施(一部)	実施	→	運用	→	→
事業の成果	『廃棄物の減量と有効利用及びリサイクルの推進』と『循環型社会にふさわしい最適なごみ処理システムの構築』の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市環境部環境事業センター					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	商品プラスチック資源化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-48-4	地域分権区分					
事業内容	<p>廃棄物の減量及び有効利用並びにリサイクルの推進と更なる分別徹底による資源の品質向上と回収量の増加を目的とし、現在有料で収集している不燃ごみの品目から一部を資源品目に追加指定し、市民負担の軽減を図ります。</p>					
活動指標	①資源化率 ②減量率					
目標値	現状値	①29%②29%	3年後目標値	①30%②25%	6年後目標値	①35%②20%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市が主体となって、収集計画の立案並びに市民への減量及び資源化促進の啓発を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	----->			→		
(地域)	実施(一部)	実施	→	→	→	→
事業の成果	『廃棄物の減量と有効利用及びリサイクルの推進』と藤沢市一般廃棄物処理基本計画の基本方針『循環型社会にふさわしい最適なごみ処理システムの構築』の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市環境部環境事業センター					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	ごみ減量推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-48-5	地域分権区分					
事業内容	<p>廃棄物の減量及び有効利用並びにリサイクルを推進するため、ごみ処理有料化のシステム構築並びに住民・事業者への周知等ごみの減量・資源化事業を実施します。</p> <p>1 指定収集袋の流通システムの運営及び住民・事業者への周知 2 小学生を対象としたごみ体験学習の実施 3 ごみ検索システムの管理 4 レジ袋削減に向けた取組の促進 5 藤沢市廃棄物減量等推進審議会の開催 6 コンポスト容器, 電動生ごみ処理機の斡旋, 購入費補助</p>					
活動指標	資源化率・減量率					
目標値	現状値	①29%・②29%	3年後目標値	①30%・②25%	6年後目標値	①35%・②30%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市が主体となって、収集計画の立案並びに市民への減量及び資源化促進の啓発を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	『廃棄物の減量と有効利用及びリサイクルの推進』及び『地球温暖化防止活動の推進』の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市環境部環境事業センター					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	ゴミ処理の現状調査とデータ収集による結果の啓蒙活動事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-6-49-13-48-6	地域分権区分					
事業内容	<p>産業から家庭にいたるまで、ゴミのリサイクル化方法の計画と実施及び、各年齢層別のゴミ排出現状と削減への提案を行います。また、路上禁煙、路上へのポイ捨て防止など身近なマナーの徹底と住み良い都市づくりへの監視と啓蒙活動を実施します。</p>					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民のボランティアや自治体との連携による協働作業グループづくりと監視活動の実施をします。また、シルバー人材センターのメンバーや警察官OBグループとの協働による監視の徹底し、海外の二の種のパトロールや監視活動グループとの交流意見交換会(定期開催)を開催します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	3年後の目標値を状況分析から設定し、その目標をクリアするための具体策を企画計画実施、活動の効果をレビューしつつ、修正したら次年度への計画へ反映させてゆきます。また、どの程度の数値が上がれば効果あったとするかの評価基準を設定していきます。					
実施主体	藤沢エコパートナーOB会(ごみ部会)					(連絡先)

事業名	資源の有効活用と青少年の科学思想の育成の事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-6-49-13-48-7	地域分権区分					
事業内容	中古パソコンを解体してその内部部品をパネルに貼りつけて教材にし、湘南の小・中学校全校に寄贈するします。また、パソコンを分解したときに出るレアメタルを回収し、資源の有効利用を図ります。活動日を毎週の火曜日と木曜日にし、カットパネルの作成、PCの修理・組み立て等を行います。また、その他の活動として、市主催のイベントには参加しており、事業の宣伝やレッツ藤沢の講習会にカットパネルを提供して教材としての活用も進めております。					
活動指標						
目標値	現状値		3年後目標値		6年後目標値	
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	コネット湘南の作業場は(株)山武の一部をお借りしており、中古PCは市民及び各団体及び(株)山武から提供して頂いております。また、一般のボランティア及び湘南工科大学の学生のボランティアの協力してもらいながら、コネット湘南の会員が中心に活動しています。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	PCを廃棄焼却しないため二酸化炭素を削減し温暖化抑制に貢献し、レアメタルの回収を図ります。また、全国の小・中学校へのカットパネルの寄贈により、学生に対し科学思想、発明アイデアの啓蒙を促進します。					
実施主体	NPO法人 コネット湘南 (連絡先) 0466-25-0050					

事業名	し尿処理施設整備関係事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-49-1	地域分権区分					
事業内容	し尿・浄化槽汚泥の処理量は、公共下水道の普及に伴い処理量が減少していること並びに県道菖蒲沢戸塚線の拡幅により、施設のセットバックが必要となることから、将来のし尿処理量に合わせ処理能力や処理方法並びに事業手法を検討し、施設整備を行うことによって、適正規模の運転による処理と施設の長寿命化を実現します。					
活動指標	エネルギー削減率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	0%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	環境に負担の少ない廃棄物処理と施設の長寿命化を実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	策定	実施	→	→	→	→
事業の成果	施設規模の縮小や処理方法の見直しにより、環境負荷低減の推進に寄与します。					
実施主体	藤沢市環境部北部環境事業所 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	水、空気、土壌等の環境保全事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-49-2	地域分権区分					
事業内容	環境基本計画の環境像1「環境に優しく空気や川のきれいな藤沢」を達成するため、施策の方向性にある大気・地下水・土壌汚染等の監視体制の整備や大気発生源対策、水質汚濁対策を進めるとともに、水質汚濁防止法、大気汚染防止法、土壌汚染対策法等の法令に基づき行う常時監視及び事業場等の指導により環境保全を図り未来につながる循環型社会の実現に取り組むまちをめざす事業です。また、新たに微小粒子状物質が環境基準に追加指定されたため、大気汚染防止法に基づき微小粒子状物質(PM2.5)を測定監視するための機器の整備を行い、大気汚染の常時監視の強化を図ります。					
活動指標	環境基準達成率					
目標値	現状値	94%	3年後目標値	97%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	水質汚濁防止法、大気汚染防止法、並びに土壌汚染対策法等の法令に基づき行う常時監視及び事業場等の指導等により市内の環境保全を図ります。市民の健康保護及び生活環境保全のため、環境基準項目の状況を把握し、市民に公表します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討・調整	→	計画			
(地域)						
事業の成果	「地域から地球に広がる環境行動都市」及び「地球温暖化防止など未来の地球環境への投資」の実現に寄与します。					
実施主体	藤沢市環境部環境保全課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	汚水処理施設整備・普及促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-49-3	地域分権区分					
事業内容	市民の生活排水を適切に処理し早期に快適な生活環境を実現するため、公共下水道全体計画区域を見直し、下水道整備区域と合併処理浄化槽設置促進区域を区分し、効率的に汚水処理施設の整備を推進します。 1 汚水管渠整備・普及による河川等の公共用水域の水環境保全 2 合併処理浄化槽設置促進による河川等の公共用水域の水環境並びに土壌環境の保全					
活動指標	整備面積					
目標値	現状値	約4,620ha	3年後目標値	約4,680ha	6年後目標値	約4,710ha
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	計画段階から市民等の意見を聴き策定した「湘南ふじさわ下水道ビジョン」に基づき、下水道整備区域については、行政が主体となって公共下水道(汚水管渠)の整備をすすめ、合併処理浄化槽設置促進区域については、補助制度の活用により地域市民による合併処理浄化槽設置を促進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→			
(地域)						
事業の成果	汚水管渠の整備・普及又は合併処理浄化槽の設置促進により生活排水が適切に処理され、水環境が保全されることにより、「水、空気、土壌等の環境の保全と、環境負荷低減の推進」並びに「湘南ふじさわ下水道ビジョン」の基本目標「快適で潤いのあるまちづくりへの貢献」及び「湘南の自然環境との共生」に寄与します。					
実施主体	藤沢市土木部土木経営課					(連絡先) 0466-25-1111

【戦略目標】

14 地域から低炭素社会をめざし、行動するまち

【成果指標】

- ① 大気・水・土壌などの環境汚染防止への満足度
- ② レジ袋を辞退する割合
- ③ 藤沢市内住宅用太陽発電系統連携普及率

【現状値】 ①19% ②36% ③1.5%

【めざそう値】 3年後：①30% ②50% ③3.0%

6年後：①40% ②55% ③6.0%

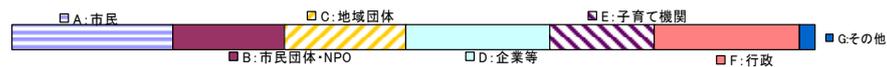
【役割の担い手】 ①A:19% B:13% C:17% D:15% E:13% F:19% G:4%



②A:17% B:15% C:15% D:18% E:12% F:21% G:2%



③A:20% B:14% C:15% D:18% E:13% F:18% G:2%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－50》 環境にやさしい交通手段の促進

＜成果の視点＞ 環境に負担の少ない交通手段で移動していること

〔主要な指標〕 主要駅の乗車客数の合計

《政策－51》 環境に配慮した建築物の普及の推進

＜成果の視点＞ 環境に負担の少ない建物の維持管理と、その建設開発誘導がすすんでいること

〔主要な指標〕 公共施設におけるLED化率

《政策－52》 地球温暖化防止活動の推進

＜成果の視点＞ 地球温暖化防止に市民、市民ボランティア、NPO、大学、企業等と行政が連携して取り組んでいること

〔主要な指標〕 温室効果ガス削減累積量

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

事業の区分	事業数
まちづくり市民連携事業	1 事業
まちづくり行政事業	13 事業 (うち 地域で考え、全市で実施する事業 0 事業) (うち 地域と全市が連携して行う事業 1 事業)

事業名	バイオディーゼル燃料使用事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-50-1	地域分権区分					
事業内容	環境にやさしい交通手段の促進及び循環型社会にふさわしい最適なごみ処理システムを構築するため、各家庭から回収した使用済み食用油をバイオディーゼル燃料としてリサイクルし、塵芥収集車への利用実験事業を行います。					
活動指標	CO2削減量(Kg/CO2)					
目標値	現状値	37,000Kg/Co2	3年後目標値	50000Kg/Co2	6年後目標値	50,000Kg/Co2
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	塵芥収集車への使用実験及びリサイクルの啓発事業を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
事業の成果	1. バイオディーゼル燃料使用によるCO2削減効果(平成20年度 31,200Kg/CO2削減, 平成21年度 37,488Kg/CO2削減効果)が見られます。 2. 塵芥収集車にバイオディーゼル燃料を使用することで、地球温暖化防止等への啓発効果が図られます。					
実施主体	藤沢市環境部環境事業センター					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	自転車走行環境整備計画策定事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-50-2	地域分権区分					
事業内容	本市都市マスタープランでは都市づくりの基本方針として、「低炭素社会構築に向けた都市づくり」の中で、公共交通網の強化と共に歩行者や自転車が移動しやすい交通環境の充実を目指すこととしており、自転車利用の実態調査を踏まえ、自転車によるネットワークの構築や自転車走行環境の改善・利用者のマナー向上に関するソフト施策等に関する研究と共に、隣接市等とも連携しながら、自転車走行環境の整備に関する本市の考え方について、検討を進めます。					
活動指標	自転車走行環境の整備に関する検討					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	
実績値	H23		H24		H25	
役割期待						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
事業の成果	自転車走行環境の整備に関する本市の考え方を都市交通体系策定に含め検討を図ること、低炭素型交通環境の形成や環境と共生する都市づくりに向けた効果が期待できます。					
実施主体	藤沢市計画建築部都市計画課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	地域公共交通システム充実促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-50-3	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>地域における身近な足(交通機関)の確保に関しては、様々な交通システムに関する意見や要望が強くあることから、市民と協働・連携して研究を進め、具体的な課題について検討を行った上で、地域に適した公共交通システムの導入を図ります。</p> <p>地域に適した公共交通システムの導入について市民(NPOや市民主体の組織が実施することも想定)や企業が実施することに関し、行政が支援を行います。</p>					
活動指標	地域公共交通の課題解決に取り組む地区数					
目標値	現状値	0地区	3年後目標値	2地区	6年後目標値	4地区
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域における様々な交通課題の解決に向けては、地域が主体的に取り組むことで、地域特性に応じたより身近な視点からの解決が期待できます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	計画	実施	→	→	→	→
事業の成果	調査・研究(先進事例の解析等)を行い、市民が主体となった公共交通システムの導入を進めます。					
実施主体	藤沢市計画建築部都市計画課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	公共施設電灯LED化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-51-1	地域分権区分					
事業内容	<p>環境に配慮した建築物の普及の推進を図るため、神奈川県グリーンニューディール基金を活用し、一年に4市民センター及び公民館の蛍光灯をLED照明管に交換し、電気使用量削減・CO2排出量を削減します。</p>					
活動指標	温室効果ガス削減累積量					
目標値	現状値	0t	3年後目標値	243t	6年後目標値	486t
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民センター・公民館は地域の方の活動拠点として、学習しながらLEDの良さと省エネ化をPRします。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	LED照明管を昨年度設置数で換算すると、1日10時間週5日稼働で算定すると、1年あたり約27tのCO2の削減となります。					
実施主体	藤沢市経営企画部環境都市政策課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	長期優良住宅等促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-51-2	地域分権区分					
事業内容	環境に配慮した建築物の普及の促進の実現に向けて、低炭素社会に向けた住宅として長期優良住宅の普及及び促進を図ります。また、低炭素社会に向けた建築物の促進のため建築物環境性能表示制度を紹介し普及を図ります。長期優良住宅の普及促進のため、その住宅の良さと優遇制度を紹介し意識啓発を行います。					
活動指標	長期優良住宅認定件数の建築確認件数に対する割合					
目標値	現状値	10%	3年後目標値	15%	6年後目標値	20%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	長期優良住宅が環境に優しいことをアピールし、市民の意識啓発を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	環境に配慮した住宅・建築物の普及及び促進が見込まれます。					
実施主体	藤沢市計画建築部建築指導課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	コンポスの普及事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-6-49-14-51-3	地域分権区分					
事業内容	庭のある家庭でコンポストを利用してもらいます。					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市の職員も庭のある方は利用して欠点を研究してもらいます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	コンポスの欠点を研究して、各場所で指導をし、利用人口の拡大と二酸化炭素削減資源ゴミとして肥料に循環利用を促進させます。					
実施主体	岩隈京子さん					(連絡先)

事業名	地球温暖化対策普及啓発事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
2-6-49-14-52-1	地域分権区分						
事業内容	2011年度(平成23年度)から12年間の計画として策定した「藤沢市地球温暖化対策実行計画」の目標として掲げた1990年度(平成2年度)比で2022年度(平成34年度)に温室効果ガスを40%削減を踏まえ、市民・事業者・NPO等活動団体等・行政などの各主体が連携し、日常生活の中で実践する基礎的取組を重点に啓発施策を推進します。 1 環境フェアや環境大賞事業の推進による家庭における実践活動や事業活動の推進 2 ふじさわエコ日和によるエコライフチェックの拡大や環境情報の提供 3 エコポイント制度の拡充や「環境モニター制度」の創設による市民意識の向上促進 4 環境ハンドブックの全戸配付による家庭における実践活動の推進						
	活動指標	1990年(平成2年)比-40%に向けた温室効果ガス削減量					
	目標値	現状値	-23%	3年後目標値	-28%	6年後目標値	-32%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地球温暖化を防止するために、行政だけでなく、市民・事業者・NPO等活動団体・大学など様々な主体が連携を図り、普及啓発事業を推進することで、基礎的取組を実践します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→						
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
(地域)							
事業の成果	普及啓発事業により、エアコンの温度設定(冷房28度, 暖房20度), こまめな消灯, 冷蔵庫の最小限の開閉, エコドライブ運転などの基礎的取組を実践することで, 温室効果ガスの削減を実現します。						
実施主体	藤沢市経営企画部環境都市政策課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名	地球温暖化対策率先行動事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
2-6-49-14-52-2	地域分権区分						
事業内容	「藤沢市地球温暖化対策実行計画」に掲げた温室効果ガスの削減目標を踏まえ、本市も一事業者として率先して削減を行うために、「職員率先実行計画」を作成し取り組みます。 《基礎的取組》 1 公共施設の緑化事業(壁面・屋上)実施, 公用車のエコドライブの実践 2 新たな環境マネジメントシステムの実施 《発展的取組》 1 公用車へ電気自動車など環境配慮型車両の導入, 市民センターへLED照明管の導入 2 公共施設建て替え及び改修時, 省エネ機器の導入						
	活動指標	1990年(平成2年)比-40%に向けた温室効果ガス削減量					
	目標値	現状値	-23%	3年後目標値	-28%	6年後目標値	-32%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は一事業者として地球温暖化を防止するために、市民・事業者・NPO等活動団体・大学など様々な主体と連携を図りながら、先導的な取組を実践します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→						
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
(地域)							
事業の成果	市も一事業者として、藤沢市地球温暖化対策実行計画と整合を図りながら、先導的に温室効果ガス削減の取り組みを実践していくことで、市域温室効果ガス削減を図ります。						
実施主体	藤沢市経営企画部環境都市政策課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名	地球温暖化対策広域連携推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-52-3	地域分権区分					
事業内容	<p>国・県や広域的に近隣市と連携し地球温暖化対策事業を実施します。</p> <p>1 二市一町による広域的な取り組み「湘南エコウェーブプロジェクト」としての取組実施 (EVネットワークプロジェクト, 緑の保全と普及プロジェクト, 環境イベントプロジェクト, 広報プロジェクトの実施)</p> <p>2 本市の近隣自治体と連携し「都市連携懇談会」として, 共通する課題を進める取組 (市境をまたがっている緑地の保全, バイクシェアリングのネットワーク拡大など)</p>					
活動指標	1990年(平成2年)比-40%に向けた温室効果ガス削減量					
目標値	現状値	-23%	3年後目標値	-28%	6年後目標値	-32%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地球温暖化を防止するために, 国・県・近隣自治体と連携し, また, 行政だけでなく, 市民・事業者・NPO等活動団体・大学など様々な主体が連携を図ることにより, 広域的に地球温暖化対策を実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	近隣自治体と連携し温室効果ガス削減を図るため, 各種プログラムを実践・PRすることで市域内から隣接する自治体区域内の温室効果ガス削減を図ります。					
実施主体	藤沢市経営企画部環境都市政策課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	再生可能エネルギー利用促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-52-4	地域分権区分					
事業内容	<p>2011年度(平成23年度)から12年間の計画として策定した「藤沢市地球温暖化対策実行計画」の目標として掲げた温室効果ガスの削減目標を踏まえ, 太陽光, 太陽熱, バイオマス, 大気熱等の再生可能エネルギーの普及を未来に投資する発展的取組として推進します。</p> <p>1 住宅用太陽光発電システムの補助制度の継続実施</p> <p>2 家庭用ヒートポンプ導入への補助制度の創設</p> <p>3 家庭用燃料電池導入への補助制度の創設</p> <p>4 バイオガス化施設での発電</p>					
活動指標	1990年(平成2年)比-40%に向けた温室効果ガス削減量					
目標値	現状値	-23%	3年後目標値	-28%	6年後目標値	-32%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地球温暖化を防止するために, 行政だけでなく, 市民・事業者・NPO等活動団体・大学など様々な主体が連携を図ることにより, 再生可能エネルギーの普及を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	住宅用太陽光発電システム, 家庭用ヒートポンプ, 家庭用燃料電池, バイオマス発電などが普及推進されることにより, 温室効果ガスの削減を実現します。					
実施主体	藤沢市経営企画部環境都市政策課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	温室効果ガス発生抑制事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
2-6-49-14-52-5	地域分権区分						
事業内容	<p>「藤沢市地球温暖化対策実行計画」の目標として掲げた温室効果ガスの削減目標を踏まえ、日常生活の中で実践する「基礎的取組」と未来に投資する「発展的取組」の2段階方式で温室効果ガスの発生抑制を図ります。</p> <p>《基礎的取組》</p> <p>1 イルミネーションライトダウンの実践, アイドリングストップ・ノーカーデーの実践</p> <p>《発展的取組》</p> <p>1 電気自動車導入助成制度の実施, バイクシェアリング拡大, EVシェアリングの検討</p> <p>2 創エネ・畜エネ・省エネを活かした「サステナブル・スマートタウン」の実現</p>						
	活動指標	1990年(平成2年)比-40%に向けた温室効果ガス削減量					
	目標値	現状値	-23%	3年後目標値	-28%	6年後目標値	-32%
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地球温暖化を防止するために、行政だけでなく、市民・事業者・NPO等活動団体・大学など様々な主体が連携を図り、基礎的取組の実践及び発展的取組を推進します。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(市域全体)						
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
事業の成果	イルミネーションライトダウン, アイドリングストップ・ノーカーデーの実践といった基礎的取組, 電気自動車導入, エネルギーの地産地消, 自転車利用の促進などによる発展的取組を推進することで、温室効果ガスの発生抑制が図られます。						
実施主体	藤沢市経営企画部環境都市政策課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名	温室効果ガス吸収促進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
2-6-49-14-52-6	地域分権区分						
事業内容	<p>「藤沢市地球温暖化対策実行計画」の目標として掲げた温室効果ガスの削減目標を踏まえ、日常生活の中で実践できる「基礎的取組」と未来に投資する「発展的取組」の2段階方式で温室効果ガスの吸収源となる緑地の保全を進めます。</p> <p>《基礎的取組》</p> <p>1 三大谷戸など良好な緑地を保全するため「下草狩り」や「間伐」等保全策の実施</p> <p>2 屋上緑化の推進, 間伐材を利用したマイ箸運動の推進</p> <p>《発展的取組》</p> <p>1 永続的な環境を維持するため緑地取得, 広域連携による共同植林の実施</p>						
	活動指標	1990年(平成2年)比-40%に向けた温室効果ガス削減量					
	目標値	現状値	-23%	3年後目標値	-28%	6年後目標値	-32%
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地球温暖化を防止するために、行政だけでなく、市民・事業者・NPO等活動団体・大学など様々な主体が連携を図り、基礎的取組の実践及び発展的取組を推進し、温室効果ガスの吸収源である緑地の保全を進めます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(市域全体)						
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
事業の成果	三大谷戸を始めとする緑地の保全, 屋上・壁面緑化が推進されることで、温室効果ガスの吸収が図られます。						
実施主体	藤沢市経営企画部環境都市政策課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名	ヒートアイランド対策推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-52-7	地域分権区分					
事業内容	ヒートアイランド現象を緩和することにより室内温度の省エネ化が可能となるため次の事業を推進します。 《基礎的取組》 1 公共施設等への「緑のカーテン」設置(まちづくりみどり推進課・湘南エコウェーブ) 2 新設する公共施設へ「屋上緑化」を設置, 打ち水の市内全域への拡大実施 《発展的取組》 1 公立保育園全園への芝生化の実現(保育課) 2 ビオトープや水田の保全(まちづくりみどり推進課・農業水産課)					
活動指標	1990年(平成2年)比-40%に向けた温室効果ガス削減量					
目標値	現状値	-23%	3年後目標値	-28%	6年後目標値	-32%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地球温暖化を防止するために, 行政だけでなく, 市民・事業者・NPO等活動団体・大学など様々な主体が連携を図り, 基礎的取組の実践及び発展的取組を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	公共施設への「緑のカーテン」の設置や屋上緑化の推進で室内温度上昇の緩和や温室効果ガスの吸収などが図られます。					
実施主体	藤沢市経営企画部環境都市政策課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	建物緑化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-52-8	地域分権区分					
事業内容	緑豊かな都市景観の創出及びヒートアイランド現象の緩和を図るため, 市内の建物緑化設置への助成, 商業地域・近隣商業地域における建築行為の際の建物緑化の義務化, 義務化に対する助成を実施するとともに, 市内の優れた建物緑化の表彰を行います。 また, 緑のカーテン用種子の配布, 公共施設における建物緑化(緑のカーテン含む)の設置, 公共施設におけるPR用看板・ポスター等の掲示, 商業施設や集合住宅に対する各種PRの実施に努め, さらなる普及・啓発を図ります。					
活動指標	①目標値に対する建物緑化助成面積(m ²) ②目標に対する建物緑化助成件数(件)					
目標値	現状値	①1,366②41	3年後目標値	①1,990②128	6年後目標値	①2,614②215
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	建物緑化の普及には, 市民・事業者・大学など各主体の自己投資が必要となります。そのため, 行政は, 財源確保及び技術的な情報提供等を含め, 普及啓発に努めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	建物緑化施設整備への助成, 普及啓発を推進することにより, 都市気象の改善(ヒートアイランド現象の緩和, 過剰乾燥防止等), 省エネルギー(夏期の温度上昇軽減, 冬期の保温等), 都市の自然性を高める(生物の生息空間, ビオトープネットワークの創出等)といった効果のある建物緑化の普及が図られます。					
実施主体	藤沢市まちづくり推進部まちづくりみどり推進課					(連絡先) 0466-25-1111

